

僕はNIE講演を聞いてSNSニュースの活用の仕方について深く学びました。SNSには新聞とは違う

正しくないニュース(fake news)などがあり、正しい情報を見分けることが大切だと学びました。具体的にどうやって正しいニュースと正しくないニュースを見分けらるのかについて

一つの情報にとらわれず同じ話題の色々な情報を見て、正しいか正しくないかを見分けていかないといけないことを学びました。このことをこれからSNSニュースを見る時に注意していきたいです。さらにこのことはSNSだけでなく日常生活にも同じことがいえると学びました。

僕はこのようなことを学んでニュースを見る情報を得ると、ということは知識などが増えるという他に人間関係など人ととのつき合いかたなどを学べるおもしろいことだと感じました。人を疋

（1）まだ寝人 鬼になるということではないですが今日学んだことは、今朝時代の人づき合いにはとても大切なことだと思ひました。今日の体験をこれから的生活にかけて、いきたいです。

ぼくはN.I.E講演を受けてみて思ってすごく自分にも関係していると思ったくて免が強になりました。自分が一番びっくりしたのはインターネットやSNSを通じてデスマのようほうを送つておいた。ほざれるついうのか一番びっくりというか、どう激的でした。あと罪金などもされていたのでたくさん怖いなと思いました。自分が悪いだけでだしたこと最悪捕まることがあるので金をつけようとと思いました。浜田さんにモテ女どうかを教えていい方だったのを見て頭に入れてからSNSやインターネットを使ってけむらをひました。今日の1日時間教えてもらつたことをできずかけ立原にハれて使ってけむらをひました。

私は、そんなに新聞を見なくて、SNSでニュースの情報をしたりしてて、たまにテレビでも見るかなという感じで新聞を見たことが少ないので、新聞のしくみなどのことをくわしくしゃべったので、教えてもらうことができて、よかったです。と思いました。そして、私は基本スマホをめちゃくちゃ使うことが多いため、TikTokなど、シャイター、インスタグラムなどを見ていたら、色々な情報がたくさん入っていて、そんなことがあったんだ、などと思う情報が入っていて、信じることが多かったけど、全部が全部正しい情報じゃないと思うから、信じすぎはよくないなあと、とても思いました。ささいなまちがいでも、ものすごく遅られるそうで、新聞記者の方々は、たいへんだなあととても感じました。そして、新聞を作っている時などの工夫など、そのほかにもさまざまなことをたくさん教えてくださったので、とても勉強になりました!!

N E E 講演を聞いて、自分が、知っていることや、はじめてきた

こともありました。ニュースの中では、うそいニュースや正確なニュース

がある。うその情報・テーマをこうしていふ人は、たまにされる

らしいです。でも、正確な情報と、うその情報を区別するには、1つの

ニュースから情報をあつめるのではなく、たくさんのニュースを見て、

正しい正確な情報を知る。この話を聞いて、自分も、1つのニュース

しか見てなかつたりしたので、S N S ・ テレビ・新聞など

のニュースを見て、正しい情報を知って、こうと思いました。

あと、新聞に書くニュースのあつめ方は、その事件が起きた

近所の人、事件を見ていた人からどんなだったかなどをきて、

新聞に書くらしいです。そして、新聞をつくるのに1日

かかるらしいです。これをきて、毎日、情報をあつめたり、

いんさつしたりしていふと、しんどいし、めんどくさそうと思った

けれど、今、みんなの手元にある新聞はつかないできなから、

つかれていく人にかんしゃをしたいくと思いました。

記者の人があなたさんの取材をして
いるおかげで私たちはあなたの
情報を知ることができたりするので
とてもありがたいなと思いました。

新聞は読む機会があまりなかた
けれど、NIEの授業をきっかけに、
あなたの記事やニュースを見たいな
と思いました。

浜田記者の取材した記事はほとんど
見たことある記事で、胸が痛くなる
ような事件があなたさんあって、取材する
ことが辛くなりそうだけじ、世の中に
伝えてくださっていることに感謝したい
です。フェイクニュースの話を聞いて、

発信元を確認して、1つの情報だけ
を信じるのはやめておこうと思いました。

今日習ったことを家の人には伝えたいです。

新聞の記者の人は、まちがえた情報庵のせてしまったら、給料が少なくなったり、わざとだつた場合はクビになつたりするときいて、びっくりしました。SNSなどでも、ニュースとかの情報を得るときは、発信元とかを見たりして、フェイクニュースをまちがってかくさないように気をつけようと思いました。あと、自分がまちがった情報を発信して、まわりの人をこんらんさせないように気をつけようとも思いました。

今回の講演を聞いて、デマ情報は、発信者が上手に他の人に信じさせるようにのせられている事を今回の講演でより深く知ったので感を受けようと思いました。忘れられないようなかっこいい記事もあったから、自分は、かわいそうではすまないなあと思ったし、そのひとつひとつで死んでしまった人のしんせきの声とは本当にうまい思いをしていて中でしゃさげられてるから、いやあ思ってわかるていたけれどうちあけてから安心するかなとくしました。大切をニュースへかくれていた時でも、しっかりと書けたとして正しい情報を書いて見せる能力はすごいと思いました。

それにデマ(スイクニュース)の対処法を行なったときなどのかっこいい話をきいたのによかったと感じました。新聞の文の作り方はとてもすごいと思いました。読んでいる間にこれはどうとか、まようことか、とてもかくなかったので文章にもすごく気を配っていると思うとすごくいいと思いました。1つの記事に1日～1年ぐらがかかるのはとてもいいですね。少しまたがえていました。料金が下がるのは少しびっくりしました。

記者になるためにには法律などもしっかり知る必要があると思いました。

NIE講演を聞いて、僕は「新聞」というメディアは情報を発信するためにたくさんのことが必要なんだなということを知りました。そこから新聞は、私たちにとってとても大事な情報源なんだなということも感じました。新聞をつくるポイントとして、文を長くせず簡潔に書くことや、大事な情報を最初に書くこと、他の文章を参考に、知識・工夫が混ざり合った文章を書くことが上げられていました。また、できた文章をみんなで確認することもあるようです。これらのことから、他のメディアとは違う間違いが無いに近い情報源をつれていくのかなと思いました。このように、情報を得るまでに、たくさんの人の苦労があるということを知りました。これらのことから今まで新聞をはじめとした他のメディアにも、もとかられていくたいなと思いました。

新聞記者の仕事は、いろいろな責任があるのにと
分かった。新聞記者の人たる事けんかあそ周りの人
たちに聞いて正確な安心できる内容を新聞に
書くんでいるんだと分かった。新聞記者の人は1年とか
半年ぐらいい取材をしていることもあるって聞いた
びっくりした。新聞を人にわたす前に、すごく
細かいチェックをして新聞を読む人に不快な思
いをさせないようにしているんだと分かつて
すごいと思った。通常に新聞を読めているのは
新聞記者の人たちだったり新聞をつくっている
人たちのおかげだなって新聞記者の方の話を
を聞いて分かった。新聞は記者の人たち
が聞いた正確な情報をSNSとか
よりも信頼できるからこれからは
しっかり新聞を読んでいくよなと思った。

NIE講演を聞いて、悲しい事件について書かれていることもたくさんあったけど、楽しそうなことについても、たくさん書いてるんだなぁと思いました。表では明かされていない裏のことについても調べたり、皆に伝えようとしていて、すごいと思いました。自分達で、情報を集めて、真実に近いものや、いいものだけを選んでいて、誤字などもないようにしては、すばらしいと思いました。

1日に分厚いこの新聞を作るのに、どれだけの情報がいるんだと思うと大変そうだと思いました。これだけの出来事が起こっているんだなぁと思うと、私たちの知らない所で、知らない出来が、他にもどれだけあるんだろと不思議に思いました。

ネットとかでうその記事を見たことはないと思ふ

いつも気付かなくて、その記事をしんじているか

もしないと思ふ、たらとてもこわい。今日、おし

えてもら、たように、例えは、「ライオンが動物

園から出た」という記事を見たとき自分ならし

んじてしまうと思う。だから、その記事を書い

た人の会社や、ほかにも同じニュースを書い

ている人がいるかチェックして、ほんとうのニュース

なのかたしかめるようにしたい。あと、新聞は2、3日前

出来るものだと思つたけど、聞いてみると、

大きな会社のトラブルや難しい事があった

りすると、半年～1年かかると聞いておどろ

いた。今日は、よくあまり聞けないようなきら

うな話を新聞記者の方に聞いてよかったです。

です。

記事に誤字やだつ字、まちがった情報が
あるだけで評価が下がったり、給料がへったり
クビになったりとそれほど重要な仕事だと
いうことが分かりました。わたしには向いて
いないなと思いました。今までマスコミや記者
にはあまりいいイメージを持っていなかった
けれど、今日のお話をきいて、色んな人の
気持ちによりそって記事をつくっていて
印象が変わりました。家族にも今日のNIE
講演の話をしたいなと思いました。私は
仕事は自分が楽しいと思えるものにつきたいと
思っていたけれど、人のため、社会のために
働けるのはすごいことだなと思いました。
ふだん新聞をあまり読まないのでいい機会
だったなと思いました。

NIE講演をきいて、いつもとは
全然ちがうテーマ?、いうか今まで
は障がい者についてなどのお話で
今回新聞記者の方がお話をしてくれた
て、字べたことがたくさんあるし、しんせんみがあって
たのしかったです。どんな仕事
でも、ちゃんとやりがいがあるって何年
も続けられてすごいなと思つ
たし、かつただったら聞けないよ
うなお話をきかせてもらつてよ
かったです。今回きかせてもらつ
たことは今後にしっかりいかし
て無だにおわることのないよう
にしていきたいです。

聞いて思つたのが、しゃざいしてすぐに
書き始める。ここでした。聞たその
次の日に新聞を作り終ゆるとな
るとどうな量をかかないといけなくなる。
第1のニュースはやはりコロナがんれ
んた"け"、事件などか一枚につきかかれ
てからコロナ系のニュースで1つ、事件で
1つとかんがえたら1日で2~3
ニュースはどれだけあることをおかしく
ないもので、せつたとはえなけれど、最初
にかならず感染者数の二ヶ書かれています。
です。ほかにもテレビでやる天候予報や
テレビにあこまでニカルもかなりかか
れているからいいんな仕事だと思ひ
ました。

ふだんあんまり新ぶんをよますに生活していたので、なかなか新ぶんなどに興味を持ついなかつた。だけど金、月、火水と新ぶんをよんでみて、思ついたよりも情報量が多くフテレビよりもないようりょうがあるんじゃないかなと思つました。新ぶんをつくる記者さんもウンの情報の中から事實を見つけてまとめてついるのがとてもすごいと思つた。でもまちがつた情報をかいつしまうと、せけんをさわがせてしまつたりみんながあやまた情報を入手してしまうので記者という仕事はとてもせきにんじゅうだいなのですよ、と怖いなと思いました。

浜田さんのお話を聞いて、色々なメディアから情報を受け取る中で、本当の情報なのかを見分けるはとても大切な事だなと思いました。一番印象に残ったのは、情報の集め方で、理由は取材をするとき、本当のこと說話しているかとか、その人が本当に信用できる人なのか分からぬのに、ちゃんとした事が新聞にのっているからとても疑問に思っていたからです。

実際にあった、京都アニメーション放火事件の記事を書く時、被害者の方に取材することで被害者も少し楽になる事があるとして、とても驚きました。私は、そういった記事を読む時、とても被害者の方、つらいのに、かわいそうと、思ってはいたのですが、この記事のやめたかった子たちはかわいだと思います。今回、聞いた話を、何で、メディアから情報を受け取る時や、学校でのNIEの学習などの時に、いかしていくべきだと思いました。

今日旦の講演を聞いて思った事は、新聞記者の仕事は、よくしらなかつたけども、よくわかりやすい説明で新聞記者のいろいろな事がしれてしまつた。ついでをえるためにミスをしたくすると言葉が下がつたりきゅうりョウが少なくなるという現実的な話を聞かれて、新聞記者はいいニュースばかりでではないのに悪いニュースをとりわけたりして仕事を続ければまるめいとこすみいと思った。おやは自分達のメディアとのかかりかたなど全く見ててびっくりしました。自分たまにスマホでニュースを見る事は、あるけど、くまもと地震のときにあつたライオンがしねげたとかのついで17のニュースにはひつかからないエラにしたいと思った。

私は生まれて初めてNIE講演を聞きました。

テレビなどで新聞記事の毎日。とかみたことある70人となる大変な事と、

わからなかったけれど今回あらためてわかりました。

とにかくおじいちゃんやおばあちゃんが読むイメージがあり、70年ぶりの毎日の

楽しみは新聞と言、7月11日ほど、みじかめ在庫で、毎日のお手本の70年

です。今日来て下さった方は、いつもミスもゆうされない、といつづけました。

たくさん頭をつか、7月やならないよりもかんばっていつまで70年。。。

うらやましくて涙がでました。

震災のテレビ番組で震災がじかに見ていても新聞を見て、7月3日でした。

11月もそれないと、命だけの仕事だとおもひます。

自分やみんなのすぐ近くにあるSNSでは、うその話や情報が下へ下へ

ある。もしんじこんではいけないし、そのうえ生活に元気をもたらす

もれないとおもふと、すごく気をつけたがるといつづけました。

まちづくとも、うちの情報は、SNSには、しんじつけないよとおもった。

この仕事は、みんなを元気にするためにせよ仕事だと、かんじました。

今回のNIE講演を聞いて、新聞や、SNSだけではなく、自分達一人一人もメディアなんだということを学びました。まちがった情報を流してしまうと、社会が混まってしまうので、本当にどうかあやふやな情報は流さないということが大切だということが分かりました。新聞では誤字・脱字がないように入念にチェックされていることは知っていましたが、ささいなミスでもものすごく楚れることは初めて知りました。私はあまり、スマートフォンなどのSNSは使うことはないですが、もし、SNSを使うことがあればまちがった情報を流していくいかチェックして、まちがいがあればすぐに訂正することが大事なんだと思いました。これがいろいろな情報を入手する中でその情報が本当に合っているのか、また、すぐにその情報を信じていいのかを確かめるから、今後もうまくメディアと付き合っていきたいです。

NIE講演を聞いて、とてもよかったです。
SNS(インターネット)であるデマ情報
がかかるといたら、そのデマ情報のせ
いで色々な人がつまたり、めいりくに
よったりすることが分かった。友達(1人)が
もってしている小青報はあまり周の人々友
達に言って、この情報が嘘だった
時、自分も周の人もつまることを知れた。
そして、しゃせいをするときは、この事件が
あった場所の近所の人や見た人など
にしゃせいする。新聞に誤字、脱字や
変な所があるたら、わざとじゃなくともどこ
もおかられ、それがもしわざとだったしたら
クビにされる、と言うのを矢印で、とても
大変だなと思いました。

新聞記者に「いつから分か
り始めたか」などあつ
た。たゞ今日来てくれてどうし
て暮らしているかとかと
く方がいた。新聞は大がと
ても多くがうつがあるのに
それを何回を見直してする
のは自分だらうかそれでせめて
よとと思った。えはまちがえ32
とがよくありますと新聞記
者はまちがえるとたいていを
したがと思いましたこれにちが
とがうそれだけでは32にまち
がえてもたいていをなじこ
でいたなくて思いました。

今回のNIE講演を聞いてわかったことは新聞をつくるのは
1日もかかること、いろいろなことを聞くために半年～
1年かかることがあるのかびっくりしました。新聞はかかる
時間くらいと思っていました。でもなぜ1日もかかるたり
半年～1年もかかるものがあるのかは、その身内な
どの人にしんちうに聞くということだとわかりました。
そもそも新聞をつくりたにと思ったのがわからなか
たけど、NIE講演で新聞を見てもううといるのは、
たいむかのためになることをしていると言っていたので
確かに人のためになるものを届ける仕事はいいなと
思いました。今回の授業で新聞のつくりかたがその日数
などをしたしました新聞記者の話もきくことはないと思
うからこのNIE講演のことを頭にいれて忘れずに
思い出したいと思いました。

かるくおもじ3半分でやめたが、それから人に知りわたり、
デマとなる。人々がだまされ、めいめいとなる。デマを流かした
人は、たいはされる。いい人ニュースややが、ニュース
も良いけど、一番良いのは、テレビで流かれた3.ニュースが一番
良いのだ。やつらうぶは、けっこつ、本当の情報もあるけど
デマの情報もあるので、やつらうぶではニュースは
見ないようにしている。

デマを流して、ばっさりかかるなんて、初めて知った
「デマを流して、30万円」「ひぼうぢゅうしょく 9千円」
など、いたい人がばっせられるらしいのだ。新聞記者の仕事
もけっこうしいことは仕事だ。事件の話を聞いたり。
話を聞いている事を紙にまとめたり泣いてる
家族に同情できないといけない。デマの情報にま
とわさせないようたいいこれからSNSの使いか
たを安全に使、アリaska(。)

新聞を作つて多くの話を聞くこともあります。
そこで色々な記事を集めたり、取材のことから
手の話もありました。個人や会社などの組織がかか
たこと、お取り上げたりしてからも真事が知れる
のです。新聞の取材で公的機関が同じ左の話を
いかあるかといった正しい情報調べていました。
ネット上で嘘の情報を出したりして情報で社会
が混乱したり人に不安な思いをさせることもあります。
N S のは一歩踏み越えだけを見たり聞のではなく
色々人の意見を知るに大成功なことです。
新聞記者の人達たちが新聞製作したり取材
をして僕たちが新聞で正しい情報を得れ込んだ
などと思いました。美味しい匂いになり情報がよく
されてきたのがそれが知られる所にならうです。
僕も誰のために仕事をしているになります。

今日の新聞記者の方の話を聞いたらくわい
うでした。いつも新聞はテレビや公共機
関などから得た情報をもとに書いている
と思いました。テレビがやらなければと思
っていた。本人に直接話を聞いたり、日報
者や第三者の人もいう話を聞いてても
大変な仕事なんだなって分かっ
ました。次にネットニュースに情報にまつ
わざれないことも専攻もしました。

例えは情報発信元を探るその情報を見て
が発信したのか本当にそれしか正しい
のかを見抜かなければなりません。僕はネットなどの
ニュースはあり得るだろと思つました。
なのでこれがはどうこの情報をどうぞと
判断していました。